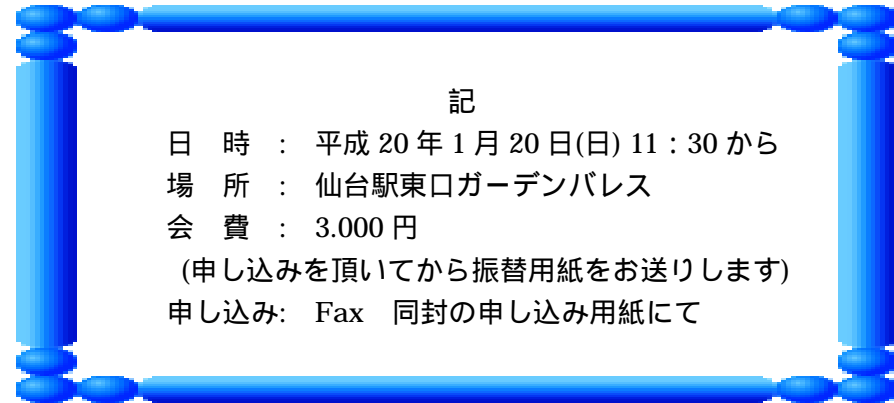


5. 新年会のご案内

会員の情報交換と親睦を目的とした新年会を開催します。役員、理事のみならず、多くの会員のご参加をお待ちしております。この機会に意見交換等をしたいと思っております。気軽に参加下さい。



6. 名前の公開について

支部総会提出議題(4)が承認され、今回の機関紙にて会員名簿の一部を公開予定でした。会員名簿の公開について本部に確認したところ、基本的に名簿は本部でお預かりしているもの、個人情報となるので、地区名・3部門別・お名前に限らず、公開出来ないとの回答です。ご報告し、名簿の公開はしないことと致します。支部総会提出議題(4)が承認されたことに伴い、公開希望者は、書面に事由を明確に記載し、支部長に閲覧を申し込み下さい。

新会員さんを増やしましょう! 未加入の皆様にお声掛け下さい

新入会届け一式は書記までご連絡下さい。ご本人に発送します。

田村雪子 090-2982-7235 FAX022-257-7610

編集後記



助産師とは何ぞや、何が出来る人が、考えさせられた1年でした。その中で、お産を扱う開業助産師たちが連携施設を確保できたことは、助産師にとって第一の朗報である。助産師でなければ出来ない思春期教育を確立出来、よい評価を頂けるようになったことも嬉しいことである。虐待予防の観点から、助産師による家庭訪問を開始したことも進歩と考える。助産師の力を期待し、院内助産院開設へ向け宮城県が助産師研修会を実施したことも、嬉しいことである。助産師にとって、過渡期ともいえるこの時期に、確実に朗報は届いている。今こそ、助産師会という団体として、益々社会にアピールするべきであろう。

今回も慌ただしく、支部便りを発行いたしました。誤字、脱字等、ボランティア精神に免じてお許し頂き、多くの方々に投稿をお願いし編集後記と致します。

発行 社団法人日本助産師会宮城県支部
〒981-0911 仙台市青葉区台原 5-12-14
支部長 新田 みつ子
電話 FAX 022-272-6578
支部便り担当 田村雪子 松田美由紀
問い合わせや投稿は、090-2982-7235 田村雪子までお願いします。



目次

1. 副支部長あいさつ 石川初枝
2. 北海道・東北ブロック研修会参加報告
支部長 新田みつ子
3. 文化の日表彰者のご紹介
小原京子氏
4. 本部会館取得寄付金のお願い
5. 新年会のご案内
6. 会員名簿の公開について
編集後記

1. 副支部長あいさつ

石川 初枝

年末のあわただしい中、会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、社団法人日本助産師会宮城県支部の近況を一言申し上げます。役員が新体制になってから、助産師のネットワーク等、種々検討を進めてきました。開業助産師と、母乳育児支援に関わる助産師たちのネットワークができたことは、喜ばしいことです。また、お産を扱う開業助産師と医療の連携に向けて、よい方向に向かっていることも、ネットワーク化がもたらす福音かとも思われます。

また、会員のボランティアメンバーで運営されている、『みやぎ・子育て女性健康センター』は、開設6年目を迎え、いろいろなお電話を頂いております。乳幼児虐待や、DV関連の相談も入っております。連携機関との共同作業が益々必要とされる所です。思春期教育等の講演依頼を頂くたびに、体、心、社会性を育むとともに、乳幼児虐待や、DV予防のための知識を、子どもたちに伝えることが必要と感じております。

今後とも、団体としてのネットワークを、他の団体との連携を含めて、進めていきたい。

最後になりますが、寒い日が続いております。ご自愛のほど、あたらしいお年をお迎え下さい。



開業助産師ネットワーク
代表 本田由美

東松島市小松字若菜 9-1
電話 0225-83-3597
FAX 0225-83-6442

2. 平成19年度(社)日本助産師会

北海道・東北ブロック研修会に参加して

宮城県支部長 新田みつ子

平成19年9月28日(金)～29日(土)青森市浅虫温泉にて開催されました。
参加者は約100名の参加で大盛況でした。一日目は大ベテランに学ぶ会陰保護は正木先生が体調不良のために青森の溝江支部長が代理を務め講演をしました。正木先生の実際のビデオでしたが先生の意味が十分伝わりました。手間暇をかけた十分に見守り安全確認をしながらゆっくり待つお産を体感できました。近藤会長の助産師の将来と題し「助産師の声明」の解説をしてくださいました。会員の皆様も文章一つひとつ噛み締めてご理解をお願いします。社会に対して胸を張り助産師はこれこれこのようなことをする人ですと声高らかに発信しましょう。

二日目は超音波診断装置の基本操作と題した弘前大学の尾崎浩士先生より講義と実技を受けることが出来ました。宮城県看護協会助産師研修と産婦人科医会でも実施されているので超音波診断装置の操作が身近に感じることが出来るようになりました。助産師外来の現状については、深谷赤十字病院助産師荒井登美子さんより助産師外来開設後16年の経過を知ることが出来ました。助産師としての専門性が発揮できることは責任が重いが妊産婦よく婦さんと医師の期待に応えられるように助産師外来を充実させたいと、話されていました。

懇親会は青森のねぶたの迫力ある演奏をじかに触れることができ浅虫温泉での心身ともに癒されました。充実した研修期間となり、若い方々の参加も多く今後の活躍に希望がもてました。

3. 文化の日表彰者のご紹介

仙台市泉区 小原京子様

おめでとうございます。
平成19年度宮城県文化の日表彰を受賞なさいました。

小原氏は、岩手県でお生まれになりました。看護学校、助産師学校を卒業され、病院に勤務されていましたが、ご結婚後、ご主人の転勤とともに退職され、一時子育てに専念されていた時期もあるそうです。3人のお嬢さんを立派に育てられています。おひとりは助産師です。「助産師の職業を受け継いでくれて、母親冥利につける思い」と話してくれました。まもなく、9人目のお孫さんがお生まれになるとお聞きしております。

子育てが落ち着いてからは、病院、また、新生児訪問指導員として、仙台市泉区を中心に母子保健にまい進してこられました。今回の授賞は、助産師として母子保健に長年貢献してこられたことへの表彰です。

家庭訪問を受けた方から、「小原さんの家庭訪問を受けて、安心しました」「優しい気持ちを持つことが出来ました」などという声が、宮城県支部まで届いています。

今後とも、よろしく母子保健の担い手として、また、後進の指導者として、ご活躍されることと願っております。



4. 本部会館取得寄付金のお願い

社団法人日本助産師会会館が、台東区鳥越に移転になりました。会館取得、移転費用等の経費の詳細につきましては、本部機関紙「助産師」に報告されているので、ご存知と思います。

さて、各支部会員からの寄付金が今回で最終の3回目です。おひとり3,000円×3回の予定で、今年期もご協力下さるようよろしくお願い致します。

なお、お振込みは、同封の郵便局振替用紙でお願い致します。

平成20年度会費引き落としのご案内

例年のように、会費は2月23日前後に引き落としになります。残高のご確認をお願い致します。なお、引き落としの手続き未の方は、3月初旬に郵便振替用紙をお届け致します。よろしくお願い致します。

.....記.....

会費	本部会費	10,000円
	支部会費	5,000円 (平成19年度支部総会にて、承認されています)
合計	との合計額	15,000円となります。

支部総会予定
H20.4.19(土)
エルソーラ仙台

新しく入会される方は
平成20年4月1日以降の新入会者は、名簿登録手数料として、10,000円プラスになります

研修会のお知らせ

宮城県性教育指導者研修会のご案内

今、助産師が期待されています。他の団体と共に学ぶ機会でもあります。案内は届き次第ご連絡しますが、日時のみ、お知らせ致します。

平成20年1月16日

場所 宮城県県庁(例年)

問合せは、宮城県性教育推進協議会理事

田村 雪子まで 090-2982-7235